

# 運命の修正について

西園寺昌美

## 誰もが幸せを求めはするが

人間は誰でも心の底から、争いのない調和した生活、幸せを求めています。けれどもいくら顕在意識が悲しみ、痛み、悩みのない自由な喜び溢れた幸せを求め続けていたとしても、なかなか自分の望んだその幸せな運命を得られず、逆に不幸せが私たちの前に現われることがあります。

何故不幸が、悲しみ痛み悩みが、私たちの前を通り過ぎて行くのでしょうか。それは潜在意識が私たちの運命を創っているからです。潜在意識とはどういうものか。勿論私たちが赤ちゃんと生まれた時から今日まで積んできた潜在意識、それも潜在意識でござりますが、生まれる以前の自分の過去世の生涯の潜在意識も含まれているわけでございます。

そうしますと皆さま方は、それでは潜在意識の**な**為せる**業**

で自分の責任ではない、自分は今幸せを求めている、病気の苦しみ、夫や妻との不和、職場でのトラブル、その全部をさけて一途に幸せだけを求めているのに、痛みが悲しみが襲ってくる、とおっしゃるでしょう。

潜在意識というものは、例えて申しますと柿がある、皆さまは柿って聞いただけで、柿の色、柿の形、柿の舌ざわりがわかる筈です。何故柿がわかるか。生まれてから現在に至るまでの過去何処かで柿を見、何処かで味わっている。だから柿というものがわかるのです。それが潜在意識なのです。それと同じに今かかえている悲しみ、痛み、辛さは、過去世においてそれを味わい体験した想い、かくれていた潜在意識が出てくるので今わかるわけです。

この世の中はいろいろな波動で出来上っています。皆さま方一人一人の感情想念、怒りの想い、妬みの想い、不平不満ら発しても、自分の中にそういう不幸の種を蒔く潜在意識がなければ、それに波動が合わないから、不幸が起るわけがないのです。

自分の意識するしなにかかわらず、心の奥底に不幸や悲しみ痛み、辛さが自分を蔽っていて、自分は不幸せなのだ、辛いのだ、悲しいのだ、病気なのだ、いくら努力しても良くならないのだ、と根強い想いとなって自分の運命を築き上げてしまっているのです。

ですから運命を修正するためには、この潜在意識を、光明思想に百パーセント合わせなければなりません。そうすれば運命は今、この時間にガラッと変ります。不幸など無いのです。私たちは守護霊さま守護神さまに守られて生きている、神さまは素晴らしいエネルギーを私たちの肉体を通して生かして下さっています。神さまを求め続けることです。神の絶対なる真理に心の目を向けた時には、今どんなに辛い立場にいらっしゃる方もだんだん幸せになる筈です。

私たちはこの肉体がある間だけ生き、死んだら生命はないということではありません。人間は永遠の生命で光り輝く神さまの世界へ行くまでに、いろいろな修業をさせられるわけです。私たちは死ぬまで何かを修業してゆくようになっていくわけです。ある人は病気で、ある人は不具の子供を持って

どうすれば潜在意識をきれいにできるのか、それは絶対光明思想によつてです。神さまは愛であり、光明であり、みんな平等に幸せを与えていらっしゃるのです。神の絶対なる愛に對して、自分の心が少しでもずれて受け取ると、不幸がそこから生じてくるわけです。

過去世において怒りという潜在意識がない人の場合、いろいろな人がその人に対して怒りをぶちまけてきても、その人は怒りが出ないのです。それと同じようにこの世の中には悲しみが充ち溢れている、辛いんだ、と不幸を肯定する気持ち一切潜在意識になかったら、この世の中の大勢の人たちが、どんなに不幸だ、嫌な世の中だ、汚い辛いという想いをいく

## 光明思想の絶大力

の想い、この世の中は不幸せなのだ、暗いのだ、いくら一生懸命やつても良くはならない、幸せにはならないのだ、という不幸、暗黒を肯定する思想、それらが知らない中に自分の潜在意識の奥底に沁み渡っていつて、自分の考え方というのが打ち出されているわけです。その潜在意識をきれいに浄め去らなければ運命は修正できません。

修業しなければなりませんし、ある人は夫婦の間がうまくい  
かなくてその修業をしたければなりません。ある人はお姑さ  
んを通して修業したければなりません。みんなそれぞれにい  
ろいろな修業の方法があるわけです。

けれどもそれは神さまが現わして下さっているのです。立  
派な人間にさせよう、神の子として光り輝く素晴らしい人間に  
させようと思つて、私たちを神さまの世界へ送り届けようと  
なさっているわけです。そういたしますと私たちはどんな環  
境にあつても、それを有難く受け取らなければならぬわけ  
です。ああこれも神さまの愛念だ、ああこれで少しづつ消し  
て頂いて本心をここに現わす一つのご修業なんだ、そう思え  
ば苦しみや悲しみや痛みは私たちの前から知らないうちに消  
えてゆくわけです。

### 想いを引き戻すな

想いというものは、形に現われれば消えるというのが性質  
です。どんな頑固な不幸の潜在意識でも守護霊さんによつて  
形に現わされれば、その波は消えてゆくのです。それを、消  
えてゆくこうとして、今、自分の目の前を通り過ぎてゆく  
のを、ガチツと掴んでまた引き戻してしまふ。引き戻して自分

う経験をもつております。それも潜在意識の中に記録されて  
います。今日、こういう運命にさだめられた、そういう環境  
におかれたこと自体が、潜在意識で、現在の結果を生み出し  
ているということです。

これからの運命はこれからの私たちの想い方によつて変つ  
てゆくわけです。相変らず神を否定し、相変らず不幸を肯定  
し、相変らず暗黒思想のまま毎日毎日、日を重ねれば、ど  
んなに幸せを願つたとしても、その人は不幸の道しか行かれ  
ないのです。救れの道はその人には永遠にないわけです。

けれどもまあこれは潜在意識の為せる業だ、潜在意識の消  
えてゆくこうとしてるところだ、不幸なんか本当はないんだ、  
幸せだけがあるのだ。自分の過去世の想いが悪を呼び寄せ、  
不幸を呼び寄せ、病気を呼び寄せて、ガチツと自分の考えで  
大きくまとめてしまった一つの想いに過ぎない。これも消え  
てゆく姿と想い、神さまに感謝した時には、その運命は暗黒  
からだんだん光明への運命にと形造られていきます。その人  
の運命には絶対なる幸せが待っているのです。

### 潜在意識の底から神さまに目を向けよう

ですから想いというのは大変に大事です。これからの想い

でギョツと握つて、ああ自分は不幸なんだ、悲しいんだ、暗  
いんだと思つてしまふ。せつかく守護霊さま守護神さまが消  
そう消そうとなざるのを改めて掴まえてしまふ。それが真理  
を知らない人の生き方なのです。

五井先生はすべて消えてゆく姿なのだと教えて下さつてい  
ます。ですから現われるものは全部通り過ぎては消えてゆく  
のだ、素晴しくなつてゆくのだと、潜在意識をきれいにし  
てしまえば、私たちの運命は修正されるわけです。

神さまはすべての人に平等に幸せと喜びと、光り輝く素晴  
しい叡智を投げかけて下さっているのです。けれども生を受  
けた瞬間にこの世においては不平等が生じているわけです。  
ある人はお金持の家に素晴らしい才能を持った子供として生ま  
れるかもしれない。ある子供は貧乏人で無学の両親の許に生  
まれるかもしれない。ある人は病気で不具者として生まれる  
かもしれない。その時点では神さまは平等ではない、神さま  
は愛だなんて信じられない、あの人も貧乏じゃないか、あの  
人は不具じゃないか、あの人はあんなに一生懸命やつている  
のに不幸じゃないか、神さまなんかあるものか。そういう表  
面的な部分だけを掴んで神さまを否定する人があります。し  
かしそれは正しい判断ではありません。

人間は現在生きているだけではなく、前の世、過去世とい  
が明日からの運命、三年後、十年後の運命を決定してゆくわ  
けです。私たちの一生を通して真理を知ること、神さ  
まを知るということ、永遠の生命を知ることが、自分  
の運命を素晴しき良き運命に導く決定的な一つの条件となる  
のです。

皆さま方は、潜在意識の底から神さまに目を向けなければ  
いけないのだ、すべては消えてゆく姿で、すべてが神さまの  
許へ導いて下さっている一つの現れだということを、潜在意  
識の中に叩きこまれたならば、その運命は修正されて、想い  
の通りに神さまの許へ行くわけです。

今の皆さま方の不幸、皆さま方の痛み、皆さま方の一つ一  
つの悩みは誰のせいでもありません。夫のせいでもなければ  
妻のせいでもなければ、両親のせいでもなければ、会社の上  
役のせいでもなければ、子供のせいでもなければ、誰のせい  
でもないのです。皆さま一人一人の責任において、今日の皆  
さまの運命が決定されているわけです。

みんな世の中が悪いのだ、自分の生まれた所が悪いのだ、  
自分をわかつてくれない周りが悪いのだと、責任はみんな他  
人に転嫁したいのが我々です。

自分の潜在意識が悪い方向へ悪い方向へ導いてしまった結  
果なのです。ですからそれを悪いことは無いのだ、幸せなの

だ、神さまから愛されているのだと、常に自分の潜在意識に素晴らしい光明思想だけを植えこんでいらつしゃると、ああこれも自分の過去世の消えてゆく姿なのだ、神さま有難うございまして、自分が発する波が光明思想に変われば、相手を責める想いも相手が悪いからと責任転嫁する想いも、みんな素晴らしい光明波動に包まれ、全部が幸せに導いてゆく光明思想の一つの種蒔きとなるわけです。

自分の中から発した素晴らしい光明思想を、相手に光の波動として投げかけた時に、まだ祈りを知らない人たちがその光の波動を浴びてなんとなく真理に目覚め、あの人とお会いすると何か気分が良くなるというって、その人がまた変って行くわけです。そうして知らないうちに光明波動が種を蒔いて、いろんな人に影響を及ぼし、その感謝の波が自分の許に帰ってきて自分が幸せになり、一廻りも二廻りも大きな運命を築き上げてゆくわけです。ですから自分の運命は自分が創るものであって、他人に左右されているものじゃないわけです。

### 自分をゆるしましょう

初めに話しましたように潜在意識に怒りや不幸を呼び寄せ種がなければ、まわりからどんな波を受けようとも自分の

分を責める想いのある人が自己処罰をするわけで、自分はあの時こういうことをしてしまった、あの時不平不満を起した、あの時神さまを認めなかった、自分が悪いのだからこれぐらいの不幸がきても仕様がなんだ、貧乏になったのは仕様がなんだと、自分である行ないを責め裁いて、自分の想いで悪い結果へ持って行くわけです。自分の過去を問いつめた時には、過去が全部光に溢れ、愛に満ちた一生という人はこの世には存在しないのです。どこかしら人を責め、そして自分を痛め続けている人が多く、その結果として自己処罰するわけです。

けれどもそういうことも本来はないのです。罪を犯したとしても、どんな感情想念が出たとしても、それは消えてゆく姿なのだ、過去世の因縁が消えていったのだ、これからよくなる、本来の光明心が現われてくるのだ、神さま有難うございまして、常に自分を赦した人、赦せる人は神そのものの光り輝いた澄んだ器となるわけです。

そうしますと、相手が出している言動がどんなに醜いものであり、どんなにお粗末な態度をしたとしても、それを赦すことができます。ああ、あの人は今消えてゆく姿をやっている、本心じゃないのだ、あれが消えてしまったら本心が現われてくるのだ、美しい姿が現われてくるのだと、相手の本心

中がないものが現われてくる筈がないのです。ですから今現われている結果が不幸な状態だとしたら、自分の心の中にその種があつたわけです。

けれどもここで皆さま方にわかつて頂きたいのは、自分の責任だと私は申しましたけれども、自分の知らないうちに過ちを犯して、知らないうちに潜在意識にいろんなものを溜めてしまった、それを神さまはすべてを赦し、すべてを愛で包んで、すべてを光で溶かしていらつしゃいます。私たちが過去世において知らないうちに積み上げたものですら、神さまはすべて赦して下さっているのです。

私たちは自分自身が本当に赦されることによって、相手をも赦すことができます。自分自身の肉体を、精神を、自分そのものを赦さない人は相手を赦すことができません。相手に常に批判的な目でみてしまいます。とかく善い人、宗教を真面目に考える人、魂のきれいな人ほど、自分はいけない人間なのだ、自分は至らない人間なのだ、自分は悪いことをしてきた、人を汚してしまつたと、自分を責める想いで一杯なのです。

自分を責めて責めて責め抜いていたならば、そこにはなんの救いもありません。自分を責めるということは、人間は本来神の子であるという光明思想を否定している想いです。自をみることができるようです。その時に自分も他人も同時に光明に包まれて、大きく神さまのみもとに存在しているわけです、相手を批判したり相手を責めたり、相手に愚痴や不平をいつた時には共に暗黒思想の中に存在するわけです。

### 今日一日が一生を決めるのです

私たちにとつて本当に一つ一つ、一言一言、一日一日の何気ない事柄でも、毎日毎日の繰り返しが生を決定するものなのだということが、生きてゆく上の大きな課題となります。皆さま方は家庭の主婦、サラリーマン、自家営業の方、実業家も芸術家もいらつしゃいます。そうしますと、あらゆる職業、いろいろな環境の場で愛だけを施すことは不可能なわけです。いろいろな対人関係があり、いろいろな波が同時に襲ってくる。そういう時にどうすれば一番素晴らしい方法で、自分は罪を犯さないで、人を責めないでいられるか。それこそ世界人類が平和でありますように、という祈りを祈ることなのです。

一日一日、今日も世界人類が平和でありますように、明日も世界人類が平和でありますように、次の日も次の日も繰り返し繰り返し、世界人類が平和でありますようにと祈つた時



には、潜在意識の中には、世界人類が平和でありますようにという想いしかなくなります。

その想いが運命を決定するのですから、世界人類が平和でありますように、守護霊さま守護神さま有難うございます、と感謝の想い、祈りだけの想いがずーっと毎日毎日繰り返される結果によって運命は、ただ世界が平和であるという調和のとれた素晴らしい光り輝く幸せな運命しか、自分の前に現われてこないのです。悪いものはどんどん消されてゆくわけです。

ですから一日一日の想いの過し方、想いのやり場を体得なさった方は、今の病気の苦しみ、今のいろいろな悲しみ、痛みから解放されるわけです。今の話と照らし合わせて、自分を考えます時、不幸だ不幸だ、悩みだ悩みだ、といつもその想いに捉われて、その想いから一步も外へ出ていないことに気づかれる筈です。一寸しこりがある、癌じゃないだろうか、癌じゃないか、今日も癌、明日も癌、明後日も癌、一ヶ月後も癌、とやっているから、自分の想いの中には癌だけしかなくなり、しまいに肉体が本当に癌になってしまいうわけです。

癌でも、ああ、これは消えてゆく姿だ、これで消えてゆくのだから、これで光り輝く本来の自分が現われるんだ、悪いもの明思想の波動が世界中に流れて行くわけです。

### それらは全て自分に還ってくる

世界人類が平和でありますようにという感謝の気持ちがいろいろな人に行き亘って還る場所は自分です。全部自分に返ってくるわけです。それによって、自分はただ教えられたままに祈っていただけなのに、なんでこんな幸せなんでしょう、なんでこんなに痛みが消えたんでしょう、ああ、あれだけ執着していた想いがとれた、なんて自由でなんて明るくて素晴らしいんでしょうという気持ちが自分の中に湧いてくる。それが人にも影響を及ぼして、いつのまにか自分の運命が修正されていくわけです。

ですから光明思想、これだけです。潜在意識の中に、神は愛である、素晴らしいものである、不幸は存在しないのである、というものだけを植えて、世界平和の祈りを祈り続けていらつしやれば、自分の運命は神の絶大な愛に光明化され、輝かしい運命を握ることが出来るわけです。

想いのエネルギーはすごいものです。良いほうに使われれば素晴らしいエネルギーとなって人々を救います。逆に悪い想いとしてそのエネルギーが使われれば破壊力として使われて

が消えてゆくのだ、と自分の想いを一つのものに止めず、そしてそれを誇張しないことです。悪い想いをおおげさにするそれがどんどん膨れ上って、一つの虚像を創りあげてしまいます。自分たちの一つ一つの想いが勝手に虚像を創り上げ、自分の肉体をがんじがらめに縛り、喘いでいたわけです。

想いというものはその場で挿んだら放さなければ駄目です。これがコツです。ああ今日も悲しい辛い、と自分を悲劇の主人公にはいけません。最初は軽い遊びの気持だった想いが、その悲しみの中にどんどん入って行って、気がついた時には毎日毎日繰り返した悲しみの中にがんじがらめになって、そこから一步も外へ出ることができない自分がそこに存在するわけです。

凸レンズを通して太陽光線を一ヶ所に持ってゆくと、太陽光線のエネルギーが一ヶ所に集中しますから紙は燃えます。それと同じで、想いを一ヶ所に集中させると大きな力となります。エネルギーとなります。

すべて想いのエネルギーが自分を通して世界中に放散されます。世界人類が平和でありますように、守護霊さま守護神さま有難うございます、という素晴らしい光明波動、光明思想を自分の言葉を通して、自分の思いを通して発散した時には、素晴らしいエネルギーとなり、世界を平和にさせようという光

しまします。ですから私たちは一日一日繰り返し繰り返し自分の想いを顧みて、神のみ心、神の方、光明だけに心を向ければ、運命は素晴らしいものになります。

今日からでも遅くありません、皆さま方一人一人が心の中に持っている苦しみを今投げ棄てて下さい。平和の祈りの中に、神さまの中にすべての想いを入れて下さい。世界平和の祈りの大光明がすべての想いを浄め、心の中にただただ感謝、愛だけが充ち溢れるように浄めてくれます。今からは執着した想いをみんな神さまの中に投げ入れて、本来の自由自在なる神の子としての一日を始めて下さい。どうも有難うございました。

(昭和53年4月大阪府立青少年会館文化ホールにて)  
西園寺昌美著『明日はもっと素晴らしい』より